

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和7年2月28日

事業所名: 子育てサポート ぶれ・しゅーれ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい どちらともいえない いいえ	工夫した点、改善点	はい どちらともいえない いいえ わからない	保護者の方のご意見			
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○	使用できるスペースをフル活用している。棚や机の向きなど工夫している。	75% 8% 17%	IF2Fとあり活動スペース、カームダウンエリアがある為、すべて見ていないのでわからない。いつも楽しいと話してくれます。			見学、動画撮影など検討していきます。
	2 職員の適切な配置	○	細かく相談しながら配置している。	83% 4% 13%	手厚い支援を受けることが出来て安心しています。			
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○	個人に合わせた提示の仕方や環境設定を行っている。家具や机の配置を考えている。	88% 13%	本人にわかりやすく作成してもらっています。変更があってもスムーズに出来ます。			
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○	室内の清掃、加湿、換気、室外のゴミ拾いなど行っている。	71% 4% 25%	“おやつをこぼした時に自分で拭いた後、先生もお掃除してくれてカビにならなかった。”と本人から聞きました。・見たことがないで分かりません。			活動している様子を見ていただけるように今後、検討していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○	活動前、活動後にミーティングを行っています。課題分析を実施して課題の振り返りを行っている。					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○	今後、検討していきます。				今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○	毎月のスタッフ勉強会や、自閉症等サービス等の外部研修に参加しています。					
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○	個別支援計画のミーティングを行い利用日などに子どもさんの活動の様子を伝え、保護と情報共有している。個別支援計画につなげている。	96% 4%	前期後期共に私たち家族の希望に沿って作ってもらっています。・自分にはない視点での話が聞けるので勉強になります。・好きなキャラクターを取り入れてくれています。・利用し始めたばかりなので分かりません。			
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○		92% 4%	お迎えにもその内容を取り入れた支援のお話や本人の様子を教えてもらいます。			
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○	子どもさんに合わせて取り入れている。					
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○	その日行った支援は必ず適切であったかどうかスタッフでミーティングしている。	96% 8%	支援の内容を取り入れた物の話ををしていただいている。・利用開始してすぐなので分かりません。			
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○	活動内容がマンネリ化やパターンにならないように常に様々なところから情報を取り入れ作成し実施している。					
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○	子どもさんの興味関心を保護者や関係機関からお聞きしながら実施している。・スケジュールに変化をつけ新しい活動を取り入れている。	100%	1日のスケジュールを持ち帰るため親子でも確認し楽しみに待つ事が出来ています。・親では思いつかないあそびをさせてくれいつも笑顔で帰ってくるので嬉しいです。・子どもの意見を取り入れてくれる。			
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○	必要なお子さんに対しては長期休暇に合わせた利用へ変更している。夏休み企画など季節あつた活動を取り入れている。					
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○	職員の役割、分担を表を記載し各自で確認を行っています。確認事や引き継ぎを全員で行っている。					
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○	業務日誌を使用し職員間で振り返りを記入し共有を行っています。毎日ミーティングを行っている。・確認事項、引き継ぎを全員で行っている。					
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○	個人の記録ノートに記入し職員間の情報共有、引き継ぎを行っています。記録を毎日欠かさず取っている。					
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○	相談支援さんともモニタリングなどの情報の共有を行ってい見直している。・前期後期に分けて個別支援計画ミーティング、作成を行っている。					
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○	児童発達支援管理責任者と担当しているスタッフが会議へ出席している。					
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)							
	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施							
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)							
	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備							
	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○	幼稚園、保育所、小学校へ訪問を行っている。訪問を行った後に先生方と相談、ミーティングの時間を設けている。					

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和7年2月28日

事業所名: チャレンジスクール えーる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	どちらともいえない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			利用児によっては狭いと感じることがあります。カーモダウンスペースをもう少し広く取れたらと思います。	78%	11%	11%	
	2 職員の適切な配置		○		日によって職員の人数に差があり、職員の急な休みなどに対応しづらいことがあります。	45%	22%	33%	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			全体を見ると視覚的にわかりやすい環境だと思いますが、全ての子どもさんにとって適切であるよう常に考えていくたいです。	100%			
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				100%			
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			支援会議、終礼等で職員間で情報共有できていると思います。				
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○						今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			スタッフ勉強会を定期的に実施し、外部研修にも多く参加しています。				
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上の児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			終礼等で様子を共有しながら丁寧に行っています。	100%			
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				100%			
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○							
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				89%	11%		細かい課題を利用の日どの程度していく、長期的に見てうまくいっているか不安な部分はあります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○							
	6 活動プログラムが固定化しないよう工夫の実施	○				89%	11%		毎回違うことを楽しみにしています。本人のペースに合わせて活動させていただき、親子ともに満足しています。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			1人1人の過ごし方をその時に応じて考えています。				
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○							
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○							
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			チャレンジノート(記録)を見返せば、その時の様子がわかり、また、次の支援を考えやすくなるようにしています。				
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○							
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○							
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)								
	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施								
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)								
	子どもたちの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								
	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学校部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○							

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和7年2月28日

事業所名: チャレンジスクール えーる+

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○		体を動かす活動は室内では難しいことがあります。	75%	15%		10% ・もう少し部屋数があればゆっくり過ごせると思う。
	2 職員の適切な配置		○	職員の人数が少ない日があり、細かな支援が出来ない日もあります。	85%	5%		10%
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			90%			10%
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			85%	5%		10%
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○					今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○		毎月のスタッフ勉強会に参加したり、外部の研修を受講したりしています。				
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上の児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			90%			10%
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			90%			10%
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○						
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○			90%			10%
	5 チーム全体での活動プログラムの立案		○	全体で話し合う時間が持ちにくく、情報共有という形になる時もあります。				
	6 活動プログラムが固定化しないよう工夫の実施	○			90%	5%		5%
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○						
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底		○	平日は晨礼で確認していますが、休日は出来ていない時があります。				
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○		終礼の時間を持ち、情報の共有を行っています。				
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施		○	当日中に支援記録の記入が出来ず、翌日に記入を持ち越してしまうことがあります。				
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○						
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施							
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備							
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学校部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○					

